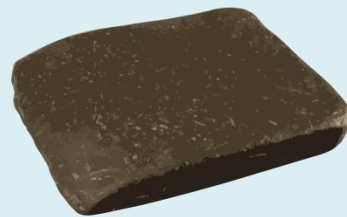


弥生時代のむら - 石器

石を加工して使用した「石器」は、土器よりも昔から使われていました。
弥生時代の石器は、石を打ち欠いてつくる「打製石器」と、
石を磨いてつくる「磨製石器」の2種類があります。



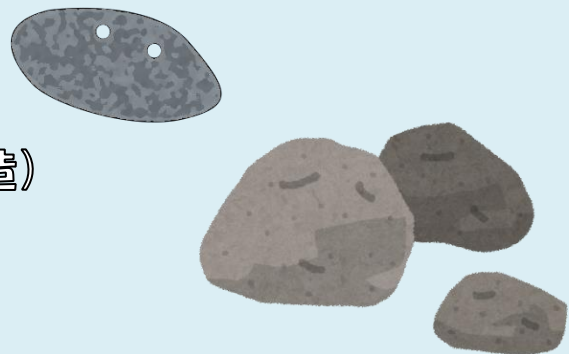
打製石器



磨製石器

石器はどのようなことに用いられていたのでしょうか。
おおむね、以下のように使われていました。

- 土を掘る
- 稲穂を刈る (石包丁)
- 木の伐採、加工 (木製品の製造)
- 武器 (やじりなど)
- 玉製品の加工



ポイント

弥生時代では、農地を切り開く、そして稲を刈るといった、
稲作関係に石器が用いられるようになります。弥生時代中期以降、
その役割は徐々に鉄器に受け継がれていきます。